

(様式 1)

## 令和 6 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立中和小学校
校長名	影山 祥仁

### 1 本校の学力に関する状況

#### (1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・第 2・3・5・6 学年は全教科、全国平均正答率を上回った。</li><li>・第 6 学年で英語が目標値より 12 ポイント近く上回った。</li><li>・第 2・3・5・6 学年は、国語で目標値より 7 ポイント以上上回った。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・第 4 学年は全教科で全国平均正答率を下回った。</li><li>・第 3 学年は経年で昨年より 2 教科とも下回った。</li><li>・算数は全学年で墨田区の平均点より下回った。</li><li>・調査終盤に無回答が見られる。</li></ul>

#### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・全学年で学習意欲が全国平均より上回った。</li><li>・第 2・3・5・6 年で学習習慣が全国平均より上回った。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・第 4 学年の学習習慣が全国平均より下回った。</li><li>・全学年で「対話・話し合い」が全国平均を若干下回った。</li></ul>

#### (3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・校内研究により、各担任の個別最適の学びと協働的な学びが一体化となった授業を活性化することを通して、児童の学習の意識が高まった。</li><li>・モノグサの宿題活用により、児童の家庭学習の意欲が高まり、活用数、提出率が上がった。</li><li>・モノグサの活用により、国語・理科のワークテストの正答率が上がった。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「友達との関わり方」「優しい言葉かけ」など、体験活動や兄弟学年の関わりの中で、人との関わり方、人の役に立つ体験を実施し、豊かな心の育成を強化する。</li><li>・学級担任だけでなく、学校全体で児童を育てる意識のもと、より児童理解を重要視しながら、「共に遊ぶ・共に話す・共に行動する」ふれあいを大切にしていく。</li></ul>

### 2 本年度の学力向上に関する主な取組

#### (1) 学習指導の重点的取り組み

- ・きめ細やかな指導を行い、基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を図る。  
→個に応じた指導、少人数指導、学習補習教室、ICT機器の活用
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。
- ・ICT機器の効果的な活用とICT機器を使わない方が効果が上がる学習の見極め
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体化に向けた実践的な研究
- ・学習指導要領の円滑な実施と教育課程の計画的実施を行う。

- ・「主体的・対話的で深い学び」を意識し、インプット型からアウトプット型の授業を行う。1時間の中に練習問題や応用問題を解く時間を設け、知識の定着を図る。
- ・タブレットを活用した家庭学習や日々の振り返り学習を通して、学習内容の定着を図る。
- ・読書旬間の際には、発達段階に応じた本を選び、読書の楽しさを味わわせる。
- ・図書館を使った調べる学習を実施していく。そのために普段の授業から調べる活動を行い、考えながら自分の意見をまとめられるようにする。
- ・外国語指導員を活用し、外国語担当教員を中心にして、外国語活動の充実を図る。
- ・ICT機器の十分な活用を図り、児童が主体的に学ぶ授業を行う。
- ・学校支援指導員やSST、学習指導講師等の活用により個に応じた指導の充実を図る。
- ・校内研究を通して、学力向上への手立てを提案し、実践する。
- ・授業観察を年3回以上実施し、教員同士がお互いの授業を見合う相互授業観察を行うことで授業改善を図る。
- ・OJT研修や区小研、校外の研修などに積極的に参加し、授業力向上に励む。
- ・自力解決にこだわる力を身に付けさせる。自分で考えやり抜く力を身に付けさせる。
- ・自分の考えを表現して人に伝える力を身に付けるための発表の場を授業に組み入れる。
- ・体験的学習など視覚からの刺激を効果的に使う。

## (2) 学力調査の結果から明らかになった課題への取り組み

### 【国語】

- ・「読む能力」「書く力」に関しては、作文・文法の「ふりかえりシート」、「よむYOMUワークシート」などの文章読解のプリントを活用する。
- ・学校行事や読書指導と関連させて、作文や感想文、意見文など文章全体の構成や展開を考える指導を充実させることで表現力を高めていく。
- ・言語の特徴や使い方について、文章の構成を捉え、内容の要約をする活動を取り入れ、「言語についての知識・理解・技能」を高めていく。

### 【社会】

- ・絵図、グラフ、写真などの資料の見方、読み取り方など、色々な資料を複合的に見る力を授業展開の中で重視しながら学習を進めていく。
- ・ICT機器やタブレットを活用して、児童に興味関心をもたせるような教材を作成し、指導の充実を図る。

### 【算数】

- ・九九の確実な定着
- ・掛け算と割り算の活用の練習を増やす。
- ・「割合」「単位量」「比」の考え方を2～6学年で系統的に確実に定着するように指導する。
- ・ペア学習、グループ学習などの話し合い活動を通して自分から問題を解決する姿勢を身に付ける。

## (3) 学力向上のための取り組み

### 【個別最適化の学びと協働的な学習を一体化させた授業の確立】

- ・墨田区教育委員会研究協力校として研究を行い、児童の学ぶ力向上を目指す。
- ・ICT学習アプリやすみだ教育研究所からの問題シートを活用した学習を実施し、学習のふりかえりや家庭学習を効果的に行い、児童の基礎・基本の学力の定着を図る。
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた学習の実現に向けて、各分科会で学習をデザインしていく。「個別最適な学び」と「協働的な学び」を児童生徒の実態に応じて適切に位置付けながら、資質・能力の育成を目指す。

#### 【基礎的・基本的な学習内容の定着】

- ・基礎学力補充を重点とした「放課後学習クラブ」、B層をA層に引き上げるチャレンジ学習である「中和塾」を実施する。どちらも学習支援指導員が行う。「放課後学習クラブ」では、基礎学力の定着、学習内容の補充指導が必要な児童を対象に、週2日国語・算数を中心にタブレットを活用して基礎・基本の定着を図る。また、「中和塾」では、週2日児童の学習意欲を高め、発展的な課題に挑戦し、自力解決力を高める。
- ・第1・第2学年でも、3展開の習熟度別指導を実施する。特に、DE層の児童に対しては、学習支援指導員と連携し個に応じたTT指導を行う。また、授業では確認問題や「ふりかえりシート」等を繰り返し行い、基礎学力の定着を図る。
- ・理科・社会の問題データベースプリントを活用する。

#### 【教員の授業力向上】

- ・研究OJTでは、校内研究前の授業研究を実施した後、事前授業を行うことによって、授業内容を理解して校内研究に臨み、協議会で活発な意見交流ができ、教師力を磨く機会となるようにする。
- ・教師のためのOJT研修では、主任教諭が中心となり、若手教諭の悩みごと、自学研修を基本とするショートOJTを週1回、ロングOJTを月1回開き、コミュニケーションを大切にしながら研修を行う。

### 3 「令和7年度 墨田区学習状況調査」における目標

#### (1) 目標

- ・全学年令和6年度との経年比較での全教科DE層の割合を5ポイント減少させる。
- ・全学年令和6年度との経年比較での全教科AB層の割合を5ポイント増加させる。
- ・全学年算数科で全国平均正答率を上回る。
- ・記述問題の無回答率を10%以上減少させる。